

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年5月15日 (2014.5.15)

【公開番号】特開2013-184029(P2013-184029A)

【公開日】平成25年9月19日 (2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2012-54221(P2012-54221)

【国際特許分類】

A 4 7 L 13/17 (2006.01)

A 4 7 K 7/00 (2006.01)

A 4 7 K 10/16 (2006.01)

D 0 6 H 5/00 (2006.01)

D 0 6 H 7/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 13/17 A

A 4 7 K 7/00 B

A 4 7 K 10/16 C

D 0 6 H 5/00

D 0 6 H 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月31日 (2014.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

請求項 8 に記載の発明は、請求項 7 に記載の汚れ拭きシートの製造方法において、前記接合工程は、前記不織布の前記引き出し方向と直交する方向の一方の端部を折り返して前記他方の端部と重ね合わせることの特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

請求項 9 に記載の発明は、請求項 7 に記載の汚れ拭きシートの製造方法において、前記接合工程は、前記接合部が、上面側に突出するように形成されることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

不織布の長手方向の端部同士を接合して接合部を形成することにより筒状に形成され、幅方向に延在する切り取り部が形成されていることを特徴とする汚れ拭きシート。

【請求項 2】

前記切り取り部は、ミシン目であることを特徴とする請求項 1 に記載の汚れ拭きシート。

【請求項 3】

前記切り取り部は、前記接合部を形成する際、前記不織布の長手方向の端部同士を、幅方向に沿って任意の間隔毎に間欠に固着させることにより形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の汚れ拭きシート。

【請求項 4】

前記接合部は、前記不織布を二つ折りにして長手方向の端部同士を接合して形成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の汚れ拭きシート。

【請求項 5】

前記接合部は、上面側に突出するように形成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の汚れ拭きシート。

【請求項 6】

開口部を有する袋状の袋本体と、前記開口部を開閉自在に覆う蓋材と、を備える包装体の内部に請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の汚れ拭きシートが複数枚積層された状態で収納され、前記開口部から前記汚れ拭きシートが 1 枚ずつ取り出されて使用されることを特徴とする汚れ拭きシート包装体。

【請求項 7】

ロール状に巻かれた不織布の原反から当該不織布を引き出し、当該不織布の引き出し方向に沿って切り取り部を形成する切り取り部形成工程と、

前記切り取り部形成工程で切り取り部が形成された不織布の前記引き出し方向と直交する方向の端部を折り返し、当該端部同士を重ね合わせて固着させ、接合部を形成する接合工程と、

前記接合工程で接合部が形成された不織布の前記切り取り部が形成された方向と直交する方向で所定のサイズ毎に裁断する裁断工程と、

を含む汚れ拭きシートの製造方法。

【請求項 8】

前記接合工程は、前記不織布の前記引き出し方向と直交する方向の一方の端部を折り返して前記他方の端部と重ね合わせることを特徴とする請求項 7 に記載の汚れ拭きシートの製造方法。

【請求項 9】

前記接合工程は、前記接合部が、上面側に突出するように形成されることを特徴とする請求項 7 に記載の汚れ拭きシートの製造方法。